地域密着型サービス運営推進会議 (令和４年度・第４回)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施 設 名 | | グループホーム・スマイル家族 | | | | | | | | | |
| 開催日時 | | 令和　4年　11月　２5日（金）　　1３時３０分　～　１４時１０分 | | | | | | | | | |
| 開催会場 | | スマイル家族・事務室 | | | | | | | | | |
| 参 加 者 | | ご 利 用 者 代 表 | | | |  | | | | | |
| ご 家 族 代 表 | | | |  | | | | | |
| 地 域 住 民 代 表 | | | |  | | | | | |
| 有 識 者 | | | |  | | | | | |
| 介護保険課 | | | |  | | | | | |
| 地域包括支援センター | | | | 西部高齢者お世話センター　粟飯原由紀　様 | | | | | |
| 事 業 者 | | | | 陶久、折野、井村、清崎、漁淵 | | | | | |
| 施 設 運 営 状 況 | | | | | | | | | | | |
| 入 居 者 要 介 護 度 | | | | | | | | | | | |
| 要介護１ | | | 要介護２ | | 要介護３ | | | 要介護４ | | 要介護５ | |
| 男１人 | 女３人 | | 男１人 | 女４人 | 男２人 | | 女２人 | 男１人 | 女２人 | 男０人 | 女１人 |

|  |
| --- |
|  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 入 居 者 年 齢 | | | | | | | | | |
| ６０歳未満 | | ６０歳台 | | ７０歳台 | | ８０歳台 | | ９０歳以上 | |
| 男０人 | 女０人 | 男０人 | 女０人 | 男１人 | 女５人 | 男４人 | 女５人 | 男0人 | 女２人 |

|  |
| --- |
|  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 職　　　員 | | | |
| 正 規 職 員 | 1２人 | パート従業員 | ９人 |

|  |
| --- |
|  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 保有資格 | | | |
| 介護支援専門員 | 2人 | 介護福祉士 | ５人 |
| 実務者研修 | ３人 | 基礎研修又は1級 | 3人 |
| 看護師 | ２人 | 初任者研修又は2級 | 1４人 |
|  |  | その他 | 3人 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受 講 研 修 等 | | | |
| 認知症対応実践者研修 | ７人 | 地域密着型サービス管理者研修 | ３人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報 告 事 項 | |
| 行 事 等 |  |
| １０月  １１月  その他 | 16日　秋の運動会（１Ｆユニット）  21日　秋の運動会（２Ｆユニット）  3日　コスモス畑散策（１Ｆユニット）  13日　焼き芋パーティ・お楽しみ会（２Ｆユニット）  14日～18日　入居者様インフルエンザ予防接種実施  22日～29日　全職員対象、抗原定性検査実施  10月に2名退去され、1名入居されました。  11月下旬に1名入居される予定です。 |
| 議　題 |  |
|  | ・新型コロナウイルス感染症「第8波」に向けた感染対策（予防）  インフルエンザウイルスが同時流行の場合、医療機関の逼迫が懸念されます。感染対策（予防）として、ワクチン接種・抗原検査の実施・検温・手指消毒・うがい・マスク着用・共用部分の小まめな消毒や換気等を実施していますが、引き続き危機感を持って取り組んでいきたいと思います。  11月に家族様と外出された入居者様が濃厚接触者となりました。抗原検査を3回行い、いずれも陰性でした。その間、居室にて隔離・食器を分けて食後はハイター消毒、対応の職員は使い捨てエプロンや手袋・フェイスシールドを着用し感染対策を実施しました。他の入居者様も全員マスク着用して頂き、接触を避けました。  ＜今後の具体的対策の検討を行いました＞  面会は玄関ホールにて、少人数での面会としていますが、流行状況により随時検討を行います。外出については、当面の間禁止とします。感染の疑いがある場合の隔離出来る居室を確保するため、入居者様の居室配置の検討を行いました。隔離居室に入室する職員は、限られた職員（日勤時間帯一名・夜勤時間帯一名）とします。入居者様や職員の抗原検査を実施し、洗濯や食器も他の入居者様と分けて洗浄・消毒を行います。  ・入居者様の事故予防について  令和4年度の入居者様の転倒事故が６件あります。ヒヤリハットは14件（転倒11件・脱出1件・その他2件）となっています。同じ入居者様が転倒を繰り返している場合も多く、申し送りや見守りが不十分であった事例がありました。また初期判断が難しく、速やかに救急医療へ繋げられなかった事例もありました。  ＜今後の対策として＞  事故報告書やヒヤリハットの提出を速やかに行います。内容は（憶測ではなく）正確に事実を記載し、家族様に説明が出来る内容とします。休みの職員に伝わっていない場合があったので、電話や申し送りで情報を等しく伝えられるようにします。  ・居室エアコンの使用方法や入居者様への請求について  入居者様で布団を掛けるのを嫌がり、職員が掛けてもベッド下に落としてしまうため、日中も夜間もエアコンを使用している場合がありますが、その場合の光熱費の請求が曖昧になっているため、改めて検討を行いました。  居室で長時間使用の場合は加湿を行います。毎月事務職へ提出している「健康管理表」にエアコンの使用状況を記載する事になりました。 |

グループホーム・スマイル家族

|  |
| --- |
|  |